

スクールタクトで小数の学習をしよう

単 元	小数	対象学年	3 年
ね ら い	「スクールタクト」を利用して、児童の取り組みを把握したり、ワークシートに数直線を載せて視覚的に支援をしたりすることで、小数の仕組みを理解できるようにする。		

1 準備するもの

教師：タブレット端末、スクールタクトで使用するワークシート

児童：タブレット端末

2 学習のしかた

- (1) スクールタクトで、本時の授業で使用するワークシートを作成する。
- (2) スクールタクトで、ワークシートを配付する。
- (3) 本時の学習課題をノートに書く。
- (4) 本時の学習課題をスクールタクト上で、個人追究する。
- (5) 共同閲覧モードを利用し、友達の考えを閲覧する。
- (6) 全体で、考えを共有する。
- (7) 練習問題に取り組む。
- (8) ノートに振り返りを書く。

3 学習上の留意点

- ・実践時がコロナ禍だったため、グループ学習は行わず、ペア学習までにとどめた。
- ・タブレット端末を使用した授業だと、教師が話をしているときに、タブレット端末を触ってしまう児童がいる。活動するときと話を聞くときのめりはりをつけるために、話を聞くときは、タブレット端末を裏面にし、机の右上に置くなどの指示が必要である。
- ・全体で児童の考え方を見せたいときは、教師のタブレット端末をミラーリングして大型ディスプレイに映せば、児童がタブレット端末を触る必要がなくなる。
- ・児童が自分の考えを書く際に、文字を入力するかタッチペンで書くかは、児童のやりやすい方法を自分で選ぶよう指示する。



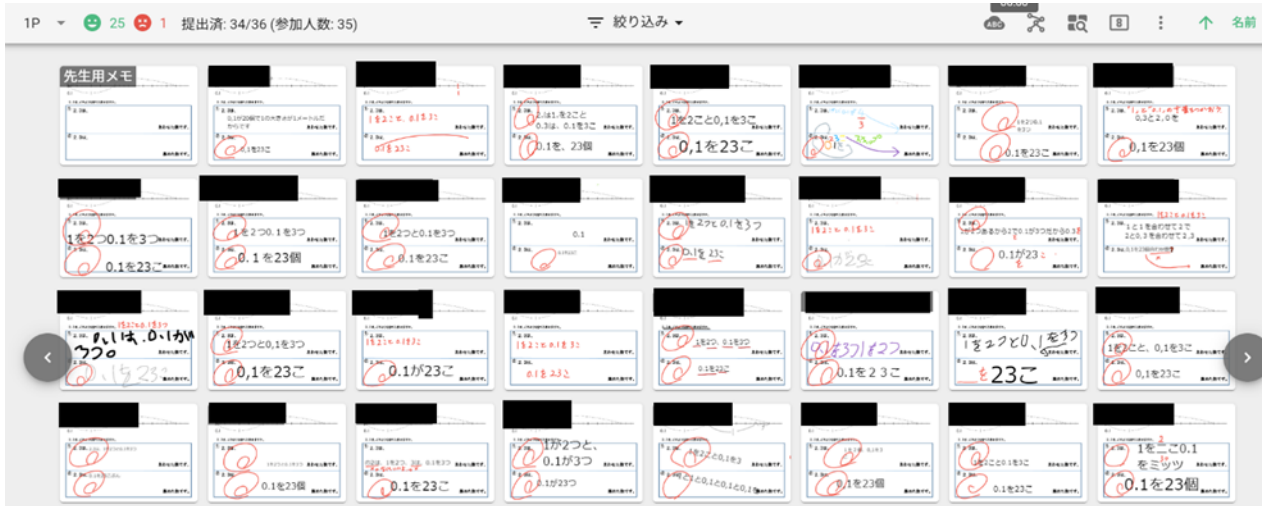
資料 1 自分の考えを書いている場面



資料 2 友達の考えを見ている場面

4 学習の効果

- ・タブレット端末を使用して、授業を行なったことにより、児童が意欲的に学習に取り組む姿が見られた。
- ・教師のタブレット端末では、児童が取り組んでいる様子がリアルタイムで分かるので、なかなか取り組むことができていない児童を把握することができ、すぐに個別支援をすることができた。



- ・ワークシートに数直線を載せたことにより、苦手な児童の視覚的支援となった。また、ノートに数直線を書かせる時間を省略することができ、個人追究に時間を取ることができた。

1 0.2 と $\frac{4}{10}$ では、どちらが大きいですか。
不等号を使って式にかきましょう。

$0.2 < \frac{4}{10}$

0.2 は 0.1 を2に分。
 $\frac{4}{10}$ は 0.1 を4に分だから
 0.2 と 0.4 は $\frac{4}{10}$ のほうが
大きくなります。

1 ジュースが大きいびんに $0.6L$ 、小さいびんに $0.2L$ はっています。あわせて何Lになりますか。

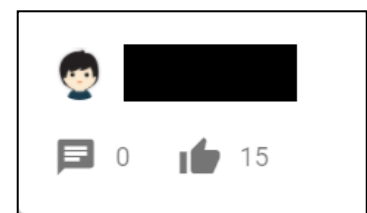
式 $0.6 + 0.2 = 0.8$ $0.8L$

0.6 は 0.1 が6個分。 0.2 は 0.1 が2個分だから $0.6 + 0.2 = 0.8$ 。

資料3 小数と分数の関係のワークシート

資料4 小数 + 小数の授業のワークシート

- ・共同閲覧モードを使用したことで、自席から友達の見解に触れることができた。
- ・「いいね」機能を利用したことにより、児童が誰の見解に共感・納得をしているのかを把握することができ、全体で取り上げることができた。
- ・ノートには、「本時のめあて」と自分で書き残したい友達の意見等のメモ、ふりかえりを書かせた。また、次時に前時に取り組んだワークシートをA4の4分の1の大きさに印刷し、ノートに貼らせたことで学習の記録を蓄積することができた。



資料5 「いいね」の数が表示されている様子